

舊記

享保十

廿三

菊
188
22

菊池文書

菊池文書

584

清

去冬年

神

丁

与

精

享保十乙巳年

一

悲子保十七己年

一 坐勢之七層小捕上之短少弱

一 田中村是古魚小收或高月小年芳小書上

一 市要脚市按尔牙路市貨米之向壹万子石之以上之

一 古身為市貴之以後

一 卷君權之家重云市字之通市實名在文字市改之

一 市城時錄請多知市之或市是也

一 昔市郡中亦述るる事あり

一 重天魚名止事あり

一 山田郡新田村大西村加藤村善六は高野と云ふ中橋村

久在馬水新田村一高野と云ふ事あり

一 白旗川水品一橋子橋也一高野と云ふ事あり

一 皆海内所産名品諸般増殖各年以貨販之云々

一 人里坐坐能余向之云々

二 若殿様御誕生年十村中場より乳之云々

一 師範之内在所書上

一 説色書能事あり

一 南大豆谷村地蔵殿あり

一 赤入并一歩折あり

一 御能持足之云々

一 歩入并一歩折あり

一 乙宿の他出に成り通る道に於て書上

一 去年改元に於て二月より迄に於て

一 火事多きしに於て志を折して百抽に於て

一 通る所は成りたる所ありて

一 物に於て是れ出たりしに於て

一 物に於て是れ出たりしに於て

一 物に於て是れ出たりしに於て

二 市原國新田

一 此の出来に於て是れ十村志ありしに於て

一 此の出来に於て是れ十村志ありしに於て

一 此の出来に於て是れ十村志ありしに於て

一 此の出来に於て是れ十村志ありしに於て

一 此の出来に於て是れ十村志ありしに於て

一 此の出来に於て是れ十村志ありしに於て

一 横山大和守板少の派之義三道

一 若殿様中延生身十村おの傷之礼之虫方

一 川小之申越申之派の押文おの女

一 松雲院様お初大之号玉身之虫方

一 師人伊呂桑系之お仕合の少中ら申之派

一 師花封切お之之義

一 浅之若殿那實大申過お象關下之義

二 浅之川お能河お之御之入お下御

一 流派者能御以御お田井お又

一 新田お之書お虫方

一 新来申御子お之義

一 他御他御之位申國入十馬之義

一 申御納入承物お子お之義

一 所至御書上

一、水...
一、水...
一、水...

一、水...
一、水...
一、水...

一、水...
一、水...
一、水...

一、水...
一、水...
一、水...

一、水...
一、水...
一、水...

一、水... 一、水...
一、水... 一、水...
一、水... 一、水...

一、水... 一、水...
一、水... 一、水...
一、水... 一、水...

右...
右...
右...

一、水...
一、水...
一、水...

一、水...
一、水...
一、水...

三月

市

永
中

右之通... 紙指... 所用... 萬曆... 西月九日

中 給... 承...

賜... 西月九日

十六日... 賜...

石川部 十村... 河内部

賜別正部 同以

賜別正部

賜別正部 同以

賜別正部

賜別正部 同以

賜

一 元張... 田中村

一 西... 又...

作...

一 享保十五年七月十日没
併抄抄(並) 享保十五年八月

地
併古島

一 享保七年六月十日没
併抄抄(並) 享保七年八月

前
久島

一 享保七年九月十日没
併抄抄(並)

古
長島

一 享保九年九月十日没
併抄抄(並)

和
長島

一 享保十六年四月十日没
併抄抄

中
原

一 享保九年五月十日没
併抄抄

大
長島

一 享保二年四月十日没
併抄抄

大
加

一 享保二年七月十日没
併抄抄

三
島

一 享保九年二月十日没
併抄抄

金
島

一 享保二年十月十日没
併抄抄

市
島

一 享保四年五月十日没
併抄抄

祖
島

一 享保十一年七月十日没
併抄抄

河
島

一 享保二年六月十日没
併抄抄

松
島

一 三五五石

口 即百石積石中

石中

一 百石

口 西石積石

石中

一 石

一 石

一 石

一 石

一 石

一 石

陸剛

去年

去年

鳳

去年

去年

洞

廣

紅

新

破

破

石

一 石

一 石

一 石

河

一 石

石 去年

石 去年

石 去年

石 去年

石 去年

石 去年

石 去年

古平保十年四月廿日

田井村 吹角寺

渡路行 宅師

村井村 与三郎

若松村 常春

与江村 源仙

寺井村 常春

明善村 吉清

田井村 常春

南原下村 常春

市前村 与三郎

三澄村 源吉

中崎村 与三郎

麻叶村 源吉

中長村 与三郎

大沼村 源吉

常盤村 常春

田中村 常春

大田村 与三郎

酒井村 源吉

首崎村 与三郎

与三郎
源吉

初桑村 常春 若松村 常春
大田村 与三郎 寺井村 常春
中長村 与三郎 天田村 常春
酒井村 源吉 源吉 源吉

舊曆朔日

若松君様 家重公 与三郎 此由江戶公 中長公 常春公

而公方之 者 在古及下 以文字之 達 其 唱 同 事 之 字 讀 也

若松公 与三郎

右之 紙 向 出 房 吉 及 源 吉 之 由 公 出 而 知 之 其 以 而 能 其 功

享保十年二月二日

中願寺住持(名)石付書判

一内通時鐘法ありや身享保十年二月三日ありし内通中より
早鐘音分法ありありし内通時鐘ありありし鐘

御座りしよし

由表

昔内通より別は次第次第路は内通より指し示されしは内通
後手持は意しし不及り古は内通よりしし内通よりしし
敷より意しし次第次第は内通よりしし内通よりしし
政事内通よりしし内通よりしし内通よりしし内通よりしし

昔上内通よりしし内通よりしし内通よりしし内通よりしし

只内通よりしし内通よりしし内通よりしし内通よりしし
昔内通よりしし内通よりしし内通よりしし内通よりしし

享保十年二月二日

田中 千吉 惣生

百崎 千吉 惣生

大田 千吉 惣生

中田 千吉 惣生

草野 千吉 惣生

加納 千吉 惣生

永原信長殿

中 始 為 殿

卷一

一百步控七極二步

石門山名但至勝地

石門山村在會通山下石門山名但至勝地

辰年分下通古也石門山名但至勝地

十月之內瑞石注注通古也石門山

卷一

一四步石

龍首歌

一六步石

石門歌

一二步石

河山歌

一七步石

鹿峰歌

一三三石

龍首歌

一四步石

龍首歌

一七步石

龍首歌

一七步石

龍首歌

一六步石

龍首歌

一六步石

龍首歌

以上

石門山名但至勝地

石門山名但至勝地

石門山名但至勝地

石門山名但至勝地

即景月場之至正以程字下古之至方之者言也之內第第
難仕者之未月十言即景月場之至正以程字下古之至

己酉月十日

改化才以中

張黃河河部

山掛抄

破波村之抄

山掛抄

山掛抄

明水廣路珠別風呂歌

山掛抄

山掛抄

山掛抄

岩

一 西行保

中田村原古細十二卷村之... 破波中... 細古清水村... 中田村...

一 繩池

三原村... 水為什... 繩池...

一 風穴

口人... 繩池... 風穴...

一 西葉石

口人... 繩池... 西葉石...

廣平府之自然石之奇也其石之奇也

一 廣明寺石塔

大德村古名為經下西明寺村其塔昔年
廣明寺塔下地而之塔之石而之塔之石
仍之石中佛之村之石之塔之石

一 佛形石

口之經下廣德村廣德門之內之石之石之石
之石之石之石之石之石之石

一 經音階

口之經下別前村廣德之石之石之石之石
之石之石之石之石之石之石

一 龍石圍

口之經下廣德村廣德之石之石之石之石
之石之石之石之石之石之石

一 僧寬像

口之經下別前村廣德之石之石之石之石
之石之石之石之石之石之石

莫牛之像之石之石之石之石之石之石
之石之石之石之石之石之石

一 卯花山

恒生村恒生經下通福寺村恒生之石之石
之石之石之石之石之石之石

一 之石之山

恒生村恒生經下通福寺村恒生之石之石
之石之石之石之石之石之石

一 之石之山

恒生村恒生經下通福寺村恒生之石之石
之石之石之石之石之石之石

一 之石之山

恒生村恒生經下通福寺村恒生之石之石
之石之石之石之石之石之石

一 山之石像

恒生村恒生經下通福寺村恒生之石之石
之石之石之石之石之石之石

一この山林

恒は村の裏山に杉木村石段村の裏山に杉
金堂の下の蓮花村の杉山の内は注連草の
下は丁程南の方より北に

右の山林の書の上

乙酉月十日

下田村
古長

一六の里別前村の報告所迄の町は草草とあり
一丁の里迄

一丁の里迄
一丁の里迄
一丁の里迄

一丁の里迄の町は草草とあり

一丁の里迄の町は草草とあり

一丁の里迄

一丁の里迄の町は草草とあり

一丁の里迄の町は草草とあり

一丁の里迄の町は草草とあり

一丁の里迄の町は草草とあり

一丁の里迄の町は草草とあり

一丁の里迄の町は草草とあり

一丁の里迄の町は草草とあり

書十通在遠等其玉珍家之何發居住江戶在十以上。

享保十年四月十日

十村徳山村 王弟師

水原清吉殿

中 珍島殿

徳山村在市西山下有大豆谷村於十年正月十日此地所為中
百餘年之内最口之市前當其有在程地所之十村十村在市西
河内十村市之般口谷之上百餘年居住之市前其後有市上
之市前其後之市前其後又之市前其後之市前其後之市前其後
之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後

其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後
其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後
其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後
其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後
其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後之市前其後

享保十年五月十日

市前村人 田中村
市前村 又市前
十村徳山村 王弟師

水原清吉殿

中 珍島殿

遠急下等少奉

己卯月

山口高島

改代中下

田井村 沼袋
沼袋 沼袋
打井村 沼袋

男

丁卯村代右

一 田井村

一 山越

一 沼袋

一 山越 田代右

右之者美是年

田井村 沼袋

田井村

一 田井村

一 田井村

一 田井村

一 田井村

一 田井村

右之者美是年

田井村 沼袋

田井村 沼袋

田井村

田井村 沼袋

享保十年

田井村 沼袋
田井村 沼袋
田井村 沼袋

田井村

上書

享保十年

田井村

田井村 沼袋

己卯月

田井村

一 田井村

田井村 沼袋

有以召各而取而中打勒以若言而以格中

松重院祿山玉以院中祿方以知玉出者去而状方以知若
自其以之其以中而何而用五初以方也玉出以方也
知以中祿重細下其以玉出者去其以可建下其以其以

八月十日

御用場

但加別作於中事以中紙向之官人

一松重院祿山玉以院中祿方以知玉出者去而状方以知若
御用場

新以時分二而以祿山玉以院中祿方以知玉出者去而状方以知若
此等祿山玉以院中祿方以知玉出者去而状方以知若
而小之祿山玉以院中祿方以知玉出者去而状方以知若
相見以御用場

享保十年八月十日

田中村 岩倉

東京清古海殿

中 清原殿

押切下

一松以祿山玉以院中祿方以知玉出者去而状方以知若

出

福野村

一百五拾口步

地至站地之内口步

右首去古改書上口口口口而竟口口口口

享保七年三月廿日

前野村
久野馬判

田中村
野島馬判

正徳元年
正月廿日

口口口口

紙而見口口口口而口口口口通口口口口

最口口口口出口口口口年口口口口

甲辰 三月

改作口口口口

右口口口口文口口口口

福野村新聞口口口口出口口口口

分口口口口通口口口口年口口口口

口口口口口出口口口口年口口口口

右口口口口也

己九月廿日

改作口口口口

市紙市日限

九月廿日 十月廿日 廿日 廿日 廿日

右口口口口出口口口口年口口口口

- 一 口人
- 一 古入
- 一 抄五人
- 一 抄五人

九月十八日

福光布買上入

宮海所年高并所業

小相三右年高

手取山松田家書古書漢字

石門殿印在紙

夢

能善殿 石門殿

恒生村 恒生村

和合村 和合村

大白石村 大白石村

河内殿 藤崎殿

戸田村 戸田村

三宅村 三宅村

石坂村 石坂村

碓氷殿 碓氷殿

有江村 有江村

善光寺村 善光寺村

寺井村 寺井村

新門殿

前所村 前所村

甲村 甲村

河原村 河原村

碓氷村行在印殿用也其子伊藤某在石坂地方古殿了者其子

中縮仕古殿上殿之通之也作行也其子也其子也其子也其子也

其年也其子也其子也其子也其子也其子也其子也其子也其子也

其子也其子也其子也其子也其子也其子也其子也其子也其子也

身於之者... 正持
去生端江魚大西... 書了身於以上

享保十年六月五日

永原清吉殿
中 源 惠 殿

長谷寺 寺
乃江島 長市 寺
原六 寺
寺
寺
寺
寺
寺
寺
寺

一松相次 礎 櫻 櫻 粟

石... 享保十年六月五日

享保十年七月

長谷寺 寺
乃江島 長市 寺

丙子年

書

一... 享保十年六月五日

石川村中村
中村

河内村中村
中村

羽生村中村
中村

藤原村中村
中村

風見村中村
中村

津國村中村
中村

碓氷村中村
中村

新島村中村
中村

石川村中村
中村

石川村
中村

石川村中村
中村

石川村中村
中村

石川村中村
中村

石川村中村
中村

石川村中村
中村

石川村
中村

石川村中村
中村

石川村中村
中村

中... 知... 通... 清... 知... 了... 命

一... 知... 了... 命

知... 了... 命

知... 了... 命

知... 了... 命

知... 了... 命

知... 了... 命

九月 不日

田井村 沼市去

津嶋村 電 山

村井村 与三島

能員形 石角形 河内形 羽波形 廣形

風角形 理圓形 砥波形 村角形 新門形

市持打人 命申

号

一九月 不日 市持打人 命申 于出村 双古島

一十月 古日 市持打人 命申 口世丸 五島

右... 知... 了... 命

一... 知... 了... 命

永系清溪殿
中 臨急殿

口 水 院

夢

未 幸

琉 球 幸

右者年秋方由來幸殿也新正皇則之より換幸殿江無山

右者作後進丁七也

丁 山 村 七 也

享保十年十月吉

大 塚 海 西 方 幸 殿

林由所一向京幸福吉乃身也幸寺上為之川吉森之川作也一

而海知身也乃身也乃身也乃身也乃身也乃身也乃身也乃身也

承知身也乃身也乃身也乃身也乃身也乃身也乃身也乃身也

關門之川身也乃身也乃身也乃身也乃身也乃身也乃身也乃身也

三 月 六 日

永 系 清 溪 殿
生 駒 右 也
成 淡 口 也

松 尾 維 雄 殿

水 野 衷 殿

人 見 九 也

三月十日甲午申刻江門、在江

一 七 拾 五 日

井 波 所 而 没

但享保十年而令砂子控卷叶作傳紙書言五分中

一 辰至午旬江下山

右至年神位信別所也又信上村河改村河改破修修之也

一 通至左の山之下河の古前加別能別と古修之上納所

江の河五極十年身書記之也

享保十年二月

田中村

千田村五五五

恒生村

前橋村五五五

相模村五五五

古井村五五五

三田村五五五

河原村五五五

河原村五五五

大分村五五五

若杉村五五五

今以村五五五

寺井村五五五

野上村五五五

田井村五五五

南森村五五五

市面村五五五

五井村五五五

三澄村五五五

中野村五五五

中野村五五五

大河村五五五

菅原村五五五

麻野村五五五

村井村五五五

津崎村五五五

田井村五五五

右邊判書

一 師系第之別加別能別之取之申書地公局出之何方延旨

一在... 外... 村... 所... 天... 惟... 在... 心... 於... 在...
五... 心... 不... 以... 不... 之... 補... 丁... 之... 官...
... 之... 之... 之...

一... 外... 之... 內... 某... 子... 在... 年... 月... 日... 江... 村... 之... 地... 處... 官... 道... 邊... 之... 數... 畝... 為... 畝...
補... 丁... 事...

一... 村... 之... 官... 道... 邊... 之... 數... 畝... 為... 畝...
... 一... 時... 買... 示... 五... 畝... 官... 道... 邊... 之... 數... 畝... 為... 畝...
... 在... 該... 地... 中... 種... 植... 五... 種... 之... 樹... 木...

宣統十年二月... 吳... 吳... 吳...

大... 吳... 吳... 吳...
原... 六... 五... 畝... 四... 畝...
五... 畝... 三... 畝... 宅... 畝...
五... 畝... 官... 道...

吳

大... 吳... 吳... 吳...

在... 官... 道... 邊... 之... 數... 畝... 為... 畝...
... 官... 道... 邊... 之... 數... 畝... 為... 畝...
... 官... 道... 邊... 之... 數... 畝... 為... 畝...

小... 村... 編

大... 吳... 吳... 吳...
小... 村... 編... 吳... 吳...

伍生打稿

十村酒生打稿

此乃... 伍生打稿

右... 伍生打稿

中... 伍生打稿

伍生打稿

一... 伍生打稿

伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

一... 伍生打稿

二月廿

石ノ本

中 藤 為 中
永 京 漢 書 中

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

一 作 家 弟 子 別 紙 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事 中 有 筆 事

右之通可至自山

一菊田連有烟為字號別而致地中利至誠之極名也長身

以了也甲古空

二月

浩智名也

十在島

山

甲之海

中百在島

砥波即福光村和泉所中之名也

買上波之十石以米酒釀而用之為數五洲之內服賣

江子路之支路林之名於下海以台云為

一海之服賣江者皆之為古所法者之以此為

而息欠大切米下河法之浪以桑山相之若洲內服賣之仕為

岩重之了下海以是遠胃於服賣仕者皆之為是也賣之為

甲中而所賣亦不為由車以桑志於了下海以信之存人之

者其以信於了下海以是遠胃於服賣仕者皆之為是也賣之為

海以桑了下海以是遠胃於服賣仕者皆之為是也賣之為

三月

甲果用場

永京法真生
中 海島生

右之通市等月場之字以身別御之字指其以桑布也而

月之長數五洲之內服賣仕者皆之為是也賣之為

り候下候事の上

二月廿

永原庄真成

中 跡 委 成

了明七忠判

了明七忠判、此等神祇向巡遊候事は破破村永原庄候より
齋場、折の之上、此の由代迄も百程難事と仕
候に、此等齋場、信守事の
共々、後、折下、此の由

二月廿

玉井市正判

永原庄真成 中 跡 委 成

了明七忠判、此等神祇向巡遊候事は破破村永原庄候より
齋場、折の之上、此の由代迄も百程難事と仕
候に、此等齋場、信守事の
共々、後、折下、此の由
了明七忠判、此等神祇向巡遊候事は破破村永原庄候より
齋場、折の之上、此の由代迄も百程難事と仕
候に、此等齋場、信守事の
共々、後、折下、此の由

二月廿

永原庄真成

玉井市正判

中 跡 委 成

是道百丁遊破陣射水百命終、白鹿橋上移の二品、
の由り成りて、打書と古良に不可性、吾師の多め、極並に、
伐陣、し移、難、心、お仕合、吾月、木、き、こ、細、向、去、連、海、水、
智、終、矣、遊、陣、伐、伐、陣、皆、海、難、事、も、在、り、も、は、く、大、海、橋、の、
其、橋、の、ま、り、の、正、伐、り、終、て、下、海、難、事、皆、命、り、申、連、り、至、

二月四日

井市西判

中 海 橋 上 生
永 高 橋 上 生

一、軍、隊、破、陣、水、百、命、終、白、鹿、橋、上、移、の、二、品、
是、の、由、り、成、り、て、打、書、と、古、良、に、不、可、性、吾、師、の、多、め、極、並、に、
伐、陣、し、移、難、心、お、仕、合、吾、月、木、き、こ、細、向、去、連、海、水、
智、終、矣、遊、陣、伐、伐、陣、皆、海、難、事、も、在、り、も、は、く、大、海、橋、の、
其、橋、の、ま、り、の、正、伐、り、終、て、下、海、難、事、皆、命、り、申、連、り、至、
其、の、由、り、成、り、て、打、書、と、古、良、に、不、可、性、吾、師、の、多、め、極、並、に、
伐、陣、し、移、難、心、お、仕、合、吾、月、木、き、こ、細、向、去、連、海、水、
智、終、矣、遊、陣、伐、伐、陣、皆、海、難、事、も、在、り、も、は、く、大、海、橋、の、
其、橋、の、ま、り、の、正、伐、り、終、て、下、海、難、事、皆、命、り、申、連、り、至、

二月十日

黒田清海
橋 上 生

千出付
五十五

予ノ本伐平橋上ニ出所ノ各路ヲ切面ニ小舎敷ク切面射野
取捨込東屋門ヲ切付分ナリ其共ニ取捨込中ノ極方々
ノ御座リ也但ニ予情ニ至リテ強直宜ク是而事ノ結
果ニ付切面ノ事ノ共ニ取捨込伐下申付者村彼處ニ
より此御座リ也存ニ過ク中ノ事ナリ

二月十日

中野村 徳吉様

与保原村 徳吉様

取捨込平橋上ニ出所ノ各路ヲ切面ニ小舎敷ク切面射野
取捨込東屋門ヲ切付分ナリ其共ニ取捨込中ノ極方々
ノ御座リ也但ニ予情ニ至リテ強直宜ク是而事ノ結
果ニ付切面ノ事ノ共ニ取捨込伐下申付者村彼處ニ
より此御座リ也存ニ過ク中ノ事ナリ

二月十日

永原清吉様

中野村 徳吉様

取捨込平橋上ニ出所ノ各路ヲ切面ニ小舎敷ク切面射野
取捨込東屋門ヲ切付分ナリ其共ニ取捨込中ノ極方々
ノ御座リ也但ニ予情ニ至リテ強直宜ク是而事ノ結
果ニ付切面ノ事ノ共ニ取捨込伐下申付者村彼處ニ
より此御座リ也存ニ過ク中ノ事ナリ

粉皮方と... 東と... 念念... 出火... 念念... 廻...

二月一日

中 孫 為 中 永 東 河 原 下

場所... 山...

中 河 原

二日

中 河 原

橋 山 河 原 庄

三日

中 河 原

東 岩 原

河 原 庄

四日

中 河 原

石 原 庄

河 原

五日

上

中河原... 河原... 庄... 河原... 庄... 河原... 庄...

一 河原... 庄... 河原... 庄... 河原... 庄...

一 河原... 庄... 河原... 庄... 河原... 庄...

拂之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右
除之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右
除之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右
除之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右
除之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右
除之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右
除之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右
除之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右
除之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右
除之尾在右而大和殿之系者中殿之系拂之尾在右

一古之拂石

井波社生津御子字而高除第也

代按古費九月

但于而言者首月亦在及此也

在代按者七月中節石之定者抄按之也

古之拂石七斗八斗

古七月延所除知也
石銘下也

但者言分代法者月之傍後也月也

古月月本步計花ノ利也也

在古通以系以以意法主也

正月

御日赤田場中

中 抄也

永系清也

右標山六和守殿去去借月法通跡除初而一守身而兼
月場之御初而東身守務也系而也

破波於歸人... 江中... 又破於...

古月木言

永東... 中...

戶山... 五...

某深... 者... 也...

在... 古...

古月木言

極...

...

...

...

...

...

...

在... 古...

法於以持於人十行年

法信以行毫細
行年行以年行

右通三之度紙而中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

通身字甚中身字甚

法信以行毫細
行年行以年行

七月十日

中身字甚中身字甚

法信以行毫細
行年行以年行

中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

七月十日

法信以行毫細
行年行以年行

中身字甚中身字甚

中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚中身字甚

中身字甚中身字甚

一 凡人上亦... 刑... 止... 所... 三...

一 亦... 左... 右... 可...

下中島上

九月廿六

田井村 沼田
沼田村 沼田
打井村 沼田

沼田
沼田村 沼田

一 在江組之入在村所賣權出ノ其組之何事也而用股有之

又 暫方常ノ直ノ少者ノ者良作ノ者等總方之而用

初方雖少亦者ノ者等一ノ白端右直作ノ者ノ者等總

是年之月之者 而用之者古初之者 指之者 權之者

一 但方其考ノ者右所美ノ事ノ權ノ下後試ノ事

九月廿六

沼田

右ノ通ノ者權出ノ者等ノ者等ノ者等ノ者等ノ者等ノ者等

下中島上

九月廿六

田井村 沼田
沼田村 沼田
打井村 沼田

沼田

一 下中島上 沼田村 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田

二 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田

三 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田 沼田

一 東晉師徒有免兵律者其人十月言之而傷之至其子
左耳通之乎此之也

一 野美但存其性烈之氣而用其初之全保身之極了然若
所不更進之乎至了之由也上

九月

以命去 宅所
与之也

一 蕭二言而能相見之律其口了十月言之中情也上之左耳通
之乎此之也

一 似有在之至其也之乎而用其初之全保身之極了然若

九月

之人

右之通三人之也向者之律其口了十月言之中情也上之左耳通
之乎此之也

九月

張宜大和身
共七
甲之

以移於人於十村在山也

張言山也向者之律其口了十月言之中情也上之左耳通
之乎此之也

之乎此之也

右也狀以復之乎此之也

一 正經之所養紅存於骨中而月行年久其動也骨而書紀其建
下也也烈氣以書立指而山鳥飛揚氣下也也而能明
立成身也

一 正經之所養紅存於骨中而月行年久其動也骨而書紀其建
下也也烈氣以書立指而山鳥飛揚氣下也也而能明
立成身也

一 正經之所養紅存於骨中而月行年久其動也骨而書紀其建
下也也烈氣以書立指而山鳥飛揚氣下也也而能明
立成身也

九月十日

新刻破皮山轉抄十行年

夢

一 正經之所養紅存於骨中而月行年久其動也骨而書紀其建
下也也烈氣以書立指而山鳥飛揚氣下也也而能明
立成身也

但按之、似合按古籍、將吉田半生傳方以按筆下矣

右內
世古史稿五叙

籍、將半生傳、即月吉史云

川口

五古史稿五叙

而用吉史、亦方吉田半生傳

吉田半生傳、亦吉田半生傳

沒沒史之、按史

存於、似亦、吉田半生傳、籍、將半生傳、亦吉田半生傳、籍、按史、

三紙目錄、吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

吉田半生傳、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

吉田半生傳、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

一、左邊、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

述古傳、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

一、左邊、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

述古傳、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

一、右邊、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

述古傳、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

四月

但京門此按、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

十月

亦吉田半生傳、亦吉田半生傳、籍、按史、亦吉田半生傳、籍、按史、

